

社会福祉法人「JAいずも福社会」令和元年度 法人（本部）事業報告

1. 基本報告

平成11年に設立以来21年が経過し、JAいずも福社会の5施設がともに情報共有しながら、地域に認められ開かれた施設運営の実現を目標に、地域福祉の増進に寄与するため組織強化をさらに進め、社会福祉法人としての社会的責務を果たすとともに、地域に根ざした福祉施設運営に取り組みました。令和元年度も新規事業者の進出や、既存事業者の施設拡充等激化する中、研修等によるサービスの向上、職員の各種資格取得、経費の節減等に取り組みました。

また、平成29年度からの社会福祉法人制度改革に的確に対応するとともに、福祉人材の確保・育成・定着に向けた取組みを強化しました。なお、平成29年度に策定した社会福祉充実計画を実施する中で、4月からは社会福祉法人ぼてとはうすと吸収合併し、障がい者就労支援事業を開始しました。

なお、年明けからの全国的な「新型コロナウイルス感染拡大」に対しては、その防止対策の強化・徹底を図り、利用者・職員・施設の安全を確保しながら、社会福祉法人としての責務を果たすとともに、地域・利用者の負託に応える事業展開に努めました。

サービス活動増減差額は、3月末決算で前年比1,263万円減少しました。これは、競合事業所の増加、ケアマネジャーや職員の減少による介護保険事業収益の減少、減価償却費の増加が大きく影響しています。今後、魅力ある職場環境づくりによる人材確保と、引き続き研修等を通じた職員の資質向上への取組みが重要と考えています。

事業実績 前年同期対比（3月末）

（単位：千円、％）

科目	R2年3月末	H31年3月末	前年同期増減	前年対比
利用者数（人）	82,916	85,952	▲3,036	96.4%
サービス活動収益(A)	651,002	628,233	22,769	103.6%
サービス活動費用(B)	641,500	606,101	35,399	105.8%
サービス活動増減差額(A)・(B)	9,501	22,131	▲12,630	42.9%
当期活動増減差額	9,408	28,474	▲19,066	33.6%

2. 主な事業実施事項

- ① 社会福祉法人「JAいずも福社会」の組織強化及び情報開示の徹底
- ② 人事労務の管理及び運営に関する調査研究
- ③ 地域内社会福祉法人およびボランティア組織との連携
- ④ 関係機関・諸団体と施設との連絡調整と強化
- ⑤ 出雲市南部福祉センターの出雲市からの譲渡について検討
- ⑥ 役職員の資質の向上
- ⑦ 職員研修の実施

- ⑧ 教育広報活動
- ⑨ 職員の新規採用（必要な場合）

3. 事業実施内容

① 役員会の開催

社会福祉法人「JAいずも福祉会」の定款の定めるところにより、理事会・評議員会・監事会を開催しました。

理事会 年 9回（内、書面決議1回）

評議員会 年 4回

監事会 年 11回（理事会・監査）（研修参加はなし）

② 施設長会の開催（11回開催）

施設長会議を定期的を開催し、情報交換、運営に当っての月次決算協議を行い、事業所間の連携強化を図りました。また、新型コロナウイルス感染防止対策にかかる協議を行いました。

③ 社会福祉法人「JAいずも福祉会」の組織強化及び体制整備

役員会と経営検討会議を開催し、法人の組織強化及び体制整備を随時行いました。

④ 社会福祉施設の運営に関する調査研究および運営の充実

運営計画・入所者の処遇等施設における運営管理の為の調査研究を行いました。

⑤ 関係機関・諸団体と施設との連絡調整と強化

社会福祉法人「JAいずも福祉会」の目的達成のための情報の交換および収集を行うために、関係機関（市、社会福祉協議会等）・諸団体と施設との連絡調整を実施しました。

⑥ 役職員の資質の向上

施設運営をより効果的に発展させるため、役職員の連携と資質向上を目的とした内部研修の充実を図り、各種研究会に積極的に参加しました。

事業ごとの各種研修に参加するとともに、施設内教育研修のほか、法人全体研修会第1回を令和元年11月21日、22日に実施しました。第2回は令和2年2月26日、27日に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で次年度へ延期しました。

第1回が「接遇マナー」についての研修実施。

第2回が「高齢・機能障害に対する運動療法」

「コンプライアンス・ハラスメント」についての研修を予定。

（各施設の研修内容は、施設報告書に記載。）

更に、施設研修に適宜可能な施設より参加いたしました。

⑦ 教育広報活動

全国経営協「情報公開ページ、JAしまね出雲地区本部ホームページ」への公開を行い、各施設閲覧資料設置をしました。

⑧ 地域およびボランティア組織との連携・支援

地元地域の「ボランティア組織の方」や「やすらぎ会」等の組織との結びつきを強化し、交流の促進により利用者への福祉サービスの向上と施設の環境整備に努めました。

⑨ 職員の登用実施

正職員（A）、正職員（C）への登用試験を令和元年12月に実施しました。

社会福祉法人「JAいずも福祉会」令和元年度 清遊館事業報告

1. 基本報告

平成 16 年度より、地域に認められ開かれた福祉施設運営の実現を目標に、地域福祉の増進に寄与するため社会福祉法人「JAいずも福祉会」は組織強化をさらに進め、社会福祉法人としての社会的責務を果たすと共に地域に根ざした福祉施設の運営に取り組んできましたが、市よりJAいずもが委託されている、特定高齢者対象とした「総合型介護予防通所事業」を参加者減少により、平成 25 年度から中止されることになった。

公益的な地域社会福祉活動利用を中心に、出雲市社会福祉協議会など利用促進要請をいたしました。社協としての利用事業は無く、平成 26 年 3 月 27 日の評議員会、理事会に於いて、平成 26 年度より清遊館運営を休止することといたしました。

また、令和元年度年間の保全管理費についても、圧縮に努め 240 千円の費用となりました。今後は、売却および取り壊しも視野に入れながら、補助金返還の対応も含めて検討します。

2. 主な事業実施事項

① 研修会等への貸出し。 無し

3. 事業実施内容

① 地域団体、研修会等への貸出し。 無し

みどりの郷出雲・令和元年度 事業報告書

1 事業全体概況

出雲市の指定管理(5年間、H28.4～H33.3)の4年目を終わりました。

また、昨年10月より消費税が10%になり、食費を値上げいたしました。

事業面では暖冬の御蔭で利用者が例年(1月、2月)に比べて、大きく休まれることなく事業収益が大きく増えました。その他として避難訓練・地域イベントの協賛などを実施しました。

1) 通所介護事業

前年度より利用者及び収入は増加しましたが、3月にかけて入院・施設入所・死亡などで利用者(7名)が減少しましたが、暖冬で休まれる方も少なかったですが、計画は未達成でした。

2) 訪問介護事業

訪問介護事業は前年より若干増の収支でした。

ただ、大口利用者が12月～1月に入院・入所され、今後は厳しい運営になりそうです。

3) 短期入所生活介護事業

年度当初は、事業進捗が厳しい状態でしたが、夏場以降、順調に推移し前年比・計画比増で終わりました。施設内でインフルエンザの流行もなく、結果 収入が大きく増加しました。

4) 居宅支援事業

居宅支援事業は順調な回復傾向にあります。

前年対比収入は111.6%でした。

5) 厨房

地元の食材を中心に献立を行ないました。その他は通常通りでした。

6) その他(指定管理等)

指定管理業務は特段問題もない年でした。

2 部署別事業実績前年同期対比(3月末)

単位(千円、%)

部署 \ 年度	令和元年度3月末			平成30年度3月末			利用者数		収入	
	利用者数	1日平均利用者数	収入	利用者数	1日平均利用者数	収入	前年増減	前年対比	前年増減	前年対比
通所介護	8,383	23.1	83,231	8,261	22.6	79,874	122	101.5%	3,357	104.2%
短期入所	6,419	17.6	74,944	5,959	16.3	69,312	460	107.7%	5,632	108.1%
居宅支援	988.5	3.2	14,423	897.0	2.9	12,921	91.5	110.2%	1,502	111.6%
訪問介護	6,064	16.7	22,183	5,906	16.2	21,393	158	102.7%	790	103.7%
合計	21,854.5		194,781	21,023		183,500	831.5	104.0%	11,281	106.1%
サービス活動増減差額			17,459			11,813			5,646	147.8%

2. 主たる活動報告（施設全体）

H31

4月

- 1日～6日 桜の花見
- 13日 斐川チューリップ花見
- 21日 キララ多伎方面ドライブ
- 27日 やきそばバイキング

R1

5月

- 13日・20日 花の郷へ遠足
- 21日 湯梨浜歌謡声遊会 天照後光様ボランティア
- 26日 朝山を元気にする祭りへ参加

6月

- 1日 斐川方面ドライブ
- 11日・18日 ラピタ本店買物

7月

- 7日 七夕会
- 10日 選択外食 吉栗の食処 おちらと 外食
- 17日 選択外食 シージャック 外食
- 26日 絵手紙作成

8月

- 3日 フレンチシースト作り
- 9日 佐田町八雲風穴へ
- 20日 素麺バイキング
- 23日 ドライブ

9月

- 1日 おらおら祭へ参加
- 11日～13日 南中学校職場体験学習
- 12日・19日 選択外出 しまねマイナリー
- 28日 お好み焼き作り

10月

- 16日 慶人会南部役員及び四絡三成様ボランティア
- 16日～18日 出雲西高校実習生来所
- 19日 日中想定火災訓練 利用者参加

11月

- 1日～12日 共同作品 ちぎり絵
- 5日 湖陵町常楽菊花展へ
- 9日 選択外出 須佐神社 すさのお 外食
- 14日 南小学校交流会
- 16日 選択外出 ラピタ本店買物
- 23日 市内ドライブ
- 24日 見々久神楽公演

12月

- 10日 おでん鍋昼食会
- 19日 年末お楽しみ会
- 25日 クリスマス会
- 28日 もちつき

R2

1月

- 3日 新年お茶会 初詣 朝山神社
- 4日 初詣 朝山神社
- 5日 安来節窪田教室演芸
- 7日 新春おたのしみ会
- 10日 おでん鍋昼食会
- 11日 新春仮装大会
- 15日 朝山幼稚園来所、交流

2月

- 3日 節分
- 9日 選択外出 ラピタ佐田店
- 10日 おでん鍋昼食会
- 14日 バレンタイン企画 手作りホットケーキ
- 16日 選択外出 しまむら 買物

3月

3日 ひな祭り 雛人形に扮して写真撮影
30日 庭へ桜見学
ハーモニカ演奏会

年間を通して（天候状況により）外食レク・買い物レク・ドライブを実施

※毎月の交流 JA女性部（南部・塩冶）さん
朝山ボランティアさん
やすらぎボランティアさん

主な事業実施事項

① 居宅介護支援事業

前々年度のケアマネジャー退職に伴い、利用者を外部依頼した関係で、数年かけて利用者を増やす努力した結果、徐々に利用者が増えてきています。今後も利用者を増やす努力を行います。

本年度も引き続き特定事業所加算Ⅱを算定するにあたり、要件である24時間連絡がとれる体制づくり、週1回のミーティング開催、個別の目標設定に対してそれぞれが研修に参加し資質向上に努めました。

高齢者単身世帯や老々介護世帯の増加により支援内容の多様化、医療機関との連携、看取りの支援などについてお互い学んだことを情報交換、事例検討などを行いました。

結果、利用者数は前年度比で110.2%、事業収入は前年度比で111.7%となり、サービス活動増減差額前年比2,105千円増となりました。

実績対比（参考）

	事業計画	前年度実績	当年度実績	（単位：人、千円）	
				計画対比	前年対比
利用者数	1077.0	897.0	988.5	91.8%	110.2%
事業収入	15,280	12,921	14,428	94.4%	111.7%
増減差額		-6,530	-4,425		

② 通所介護サービス事業

本年度は一日平均22.7人（前年対比0.5人増）でしたが、目標の23.5人を目標に努力してまいりましたが、3月から利用者の入院・施設入所・死亡などで大きく利用者が減少しました。

尚、目標は達成出来ませんでしたが、個別機能訓練を実施したこともあり、収支増に貢献しました。

結果は、利用者数及び収入が5年連続の増加につながりました。年間を通し利用者数は前年比で101.5%・収益も前年比で104.2%となりましたが、人件費増に伴いサービス活動増減差額前年比945千円減となりました。

実績対比（参考）

	事業計画	前年度実績	当年度実績	（単位：人、千円）	
				計画対比	前年対比
利用者数	8,586	8,261	8,383	97.6%	101.5%
事業収入	82,784	79,874	83,231	100.5%	104.2%
増減差額		16,260	15,315		

③ 短期入所生活介護サービス事業

前年度 12 月に空調整備の更新が完了し、より良い環境でご利用いただけることとなりました。

感染症対策をとしてインフルエンザ等で部署を休止することのないよう、万全を期して対策を実施しました。

事業面では、年度当初は厳しい状態でしたが、夏場以降、順調に推移しました。その結果、昨年度より利用者は 107.7%増・収益は 108.1%増、サービス活動増減差額前年比 3,191 千円増でした。

実績対比（参考）

	事業計画	前年度実績	当年度実績	（単位：人、千円）	
				計画対比	前年対比
利用者数	6,233	5,959	6,419	103.0%	107.7%
事業収入	72,343	69,312	74,944	103.6%	108.1%
増減差額		3,656	6,848		

④ 訪問介護サービス事業

本年度は特定事業所加算Ⅱ（事業収益の 10%）を取得いたしましたが、収支面で新規利用者確保に努めました。また、事業所訪問等の効果もあり収支は前年増となりました。

結果、訪問件数は前年度比で 106.4%増、サービス活動増減差額前年比 1,183 千円増でした。

実績対比（参考）

	事業計画	前年度実績	当年度実績	（単位：人、千円）	
				計画対比	前年対比
利用者数	5,241	5,811	5,959	113.6%	102.5%
事業収入	20,625	21,243	21,999	106.6%	103.5%
増減差額		-1,474	-291		

⑤ やすらぎヘルパー事業

前々年度より自費事業を開始しましたが、徐々に利用者も増えてきていますが介護保険利用者の補完的な役割として事業展開を行っています。

結果、利用者は前年の約倍の95件でした。

実績対比（参考）

	事業計画	前年度実績	当年度実績	（単位：人、千円）	
				計画対比	前年対比
利用者数	90	95	105	116.7%	110.5%
事業収入	132	150	180	136.4%	120.0%

⑥ 指定管理事業

出雲市の公設施設の指定管理制度により、南部福祉センター（「福祉センター棟」「交流センター棟」「多目的広場」「屋外棟」）の管理を行いました。

近年は冬場（12月～3月）の利用が減少し、大きなイベントも無い結果です。

交流センターの使用は地域の夏祭り会場や趣味の同好会・「空手」練習の定期利用などがありますが、前年度に比べ利用者数の669人の減の2,828人でした。

実績対比（参考）

	（単位：人）		
	前年度実績	当年度実績	前年対比
利用者数	3,497	2,828	80.8%

みどりの郷湖陵 令和元年度事業報告

1、基本報告

短期入所を除く部署で利用者数減少あり事業収入に影響しました。利用者減要因としては、夏場7月～9月の暑い時期の利用者入院、死亡、また通所、訪問系のサービスから、短期入所施設入所サービスへの切替を選択される利用者も多く、その方の介護度、利用回数多という事も絡んで減少して行ったということが推測されました。

1) 通所介護事業

利用回数多く、介護度の高い利用者の入所、入院、死亡があり数字に影響出ました。
安定した利用者、収入確保の為には、利用者登録数を増やす事が必要。

2) 短期入所生活支援事業

利用者増につながる営業活動と様々な加算を算定することで利用者数、収入共に前年度を上回りました。

3) 訪問介護事業

利用回数多い方が入院、施設入所という理由で訪問が減少したことが収入減少につながりました。

4) 居宅介護支援事業

利用者数減。主任ケアマネ不在の影響である加算が算定できなかったのが、収入減に大きく影響致しました。

部署別事業実績前年同期対比

(単位：人、千円、%)

年度 部署	令和元年度3月末			平成30年度3月末			利用者数			事業収入	
	利用者数	1日平均 利用数	事業 収入	利用者数	1日平均 利用数	事業 収入	前年差	前年 対比	1日平均利 用者数の前 年差	前年 差 額	前年 対比
通所介護	7,690	21.1	73,467	8,605	23.6	79,942	-915	89.4%	-2.5	-6,475	91.9%
短期入所	6,562	18.0	75,267	6,202	17.0	71,777	360	105.8%	1.0	3,490	104.9%
訪問介護	4,689	12.8	19,805	5,723	15.7	22,583	-1,034	81.9%	-2.9	-2,778	87.7%
居宅介護	1,249	4.0	16,377	1,546	5.0	24,091	-297	80.8%	-1.0	-7,714	68.0%
障害サービス	137	0.4	557	196	0.5	784	-59	69.9%	-0.1	-227	71.0%
合計	20,327		185,473	22,272		199,177	-1,945	91.3%		-13,704	93.1%
サービス活動増減差額			-6,161			756				-6,917	-6.9%

2、主な活動報告（施設全体）

	【実施月日】	【活動内容】
H31	4/1・8・15・22	希望外出（花の郷見学）
	4/10	民生・児童委員さんとの交流会
	4/21	ココアポットさん・スプリングコンサート（歌・演奏等）
R 1	5/6	布野伸一さんによる音楽ショー（ユーフォニウム演奏）
	5/7・14・21・28	希望外出（ホライズンコーヒー）
	5/18	岡田様によるハーモニカ演奏
	6/5・12・19・26	希望外出（オレンジペーカーリー）
	6/6	蕎麦の皮剥ぎと調理
	6/6・7	演歌路の会
	6/10～14	島根大学学生介護職場実習受入
	6/16	布野伸一さんと愉快的親父達コンサート
	6/16	父の日イベント（絵手紙プレゼント） お風呂の日
	6/17～21	島根大学学生介護職場実習受入
	6/19、20	トリニティカレッジ実習
	6/21	施設内研修（高齢者虐待・感染症予防）
	6/24・7/7	ドライブ（あじさいと蓮の花観賞）
	7/3	夏祭り&七夕祭り
	7/4・11・18・25	希望外出（ホライズンコーヒー）
	7/19	岡田様によるハーモニカ演奏
	7/27	ココアポットさん・スプリングコンサート（歌・演奏等）
	7/31	笑いヨガで元気になろう
	8/3	歌謡ショー（雨照後光様）
	8/5～8/9	島根大学学生介護職場実習受入
	8/14	布野伸一さんによる音楽ショー（ユーフォニウム演奏）
	8/16	施設内研修（褥瘡対策について）
	8/27	施設避難訓練
	8/30	笑いヨガで元気になろう
	8/31	岡田様によるハーモニカ演奏
	9/6・13・20・27	希望外出（いちぢく温泉食事処 和楽）
	9/15	ドライブ（キララ多伎）
	9/16	おんぼらーとさんコンサート
	9/23	安来節保存会湖陵支部さんによるショー
	9/25・26	演歌路の会
	9/26	施設内研修（救急救命講習）
	9/30	笑いヨガで元気になろう
	9/30	消防機器点検
	10/1・9・18・20・28	岡田様によるハーモニカ演奏
	10/15	湖陵町三部神事華お祭り見学
	10/16～18	出雲西高学生実習
	10/21	湖陵幼稚園お掃除ボランティア
	10/31	笑いヨガで元気になろう

【実施月日】	【活動内容】
R 1 11/5・12・19・26	希望外出（お食事処 光）
11/15	家族会
11/3～7	常楽寺菊花展見学
11/8	民生委員さんとの交流会（尺八演奏等）
11/21	芋煮会
11/21・22	福祉会全体研修（接遇について）
11/29	笑いヨガで元気になろう
12/2	布野伸一さんによる音楽ショー（ユーフォニウム演奏）
12/5	常楽寺ミニデイ訪問（デイ主任、施設長）
12/10・11	演歌路の会
12/19・27	岡田様によるハーモニカ演奏
12/20	施設内研修
12/23	クリスマス会・職員によるハンドベル
12/24	森山利光様によるハーモニカ演奏
12/30	笑いヨガで元気になろう
R 2 1/3・4・5	彌久賀神社初詣参拝
1/10	えくぼさん 台湾獅子舞
1/15・31	笑いヨガで元気になろう
1/17	施設内研修（身体拘束）
1/22	森山利光様によるハーモニカ演奏
1/23	岡田様によるハーモニカ演奏
1/25	ココアポットさん・コンサート（歌・演奏等）
1/29	アルソアフォルテ（顔つぼ、ハンドマッサージ）
2/3	節分祭（豆まき）
2/7・8	演歌路の会
2/17	布野伸一さんによる音楽ショー（ユーフォニウム演奏）
2/26・27	福祉会全体研修（高齢者の機能訓練【仮】） *コロナの影響にて中止。
2/27	笑いヨガで元気になろう
3月～	新型コロナの影響で予定していたボランティアさんイベント中止。
3月11日～	コロナ影響で中止となった代わりに、毎日の入浴時風呂の日。

3、主な実施事項

(ア) 居宅介護支援事業

4, 5, 6月は特定事業所加算Ⅲ（1件あたり、3,000円）の加算が算定出来たが、7月から12月までは主任ケアマネ不在の為、1,854千円の加算算定出来ず。1月からは主任ケアマネを取得した職員を配置して再度特定事業所加算Ⅲを算定している。三人のケアマネで1ヶ月104件。一人あたり34件の実績数値。目標としてた一人あたり39件が達成出来なかったことと、加算未取得の期間が長期に渡ったということが実績減につながった要因であると痛感しております。

利用者数は前年比80.7%、事業収入は前年比68.7%となり、サービス活動増減差額は前年比2,124千円減となりました。

<実績対比>		(単位：人、千円)			
	事業計画	前年度実績	当年度実績	計画対比	前年対比
利用者数	1,416	1,546	1,249	88.2%	80.7%
事業収入	20,046	24,091	16,377	81.7%	68.7%
増減差額		80	-2,284		

(イ) 通所介護事業（予防含む）

利用者数、収入共に前年度実績には届きませんでした。その要因としては、利用回数が多い方や介護度が高く1回の利用単価が高い方の死亡、入所、入院があげられます。その状況を出来るだけ少なくする為には、利用者数増への取組みが必要になります。地域の予防教室、老人クラブへの営業活動等実施していく。さらに、現在利用している方への誠意あるサービスの継続が、新たな利用者の発掘に繋がるので、目の前の利用者への対応にさらに注意して行っていく。

<実績対比>		(単位：人、千円)			
	事業計画	前年度実績	当年度実績	計画対比	前年対比
利用者数	8,760	8,605	7,690	87.8%	89.4%
事業収入	96,244	79,942	73,467	76.3%	91.9%
増減差額		7,617	2,965		

(ウ) 短期入所生活介護事業（予防含む）

前年度より利用者数増。元年4月に正看護師を採用し、それにより機能訓練体制加算、看護体制加算、また介護福祉士が職員の50%以上配置すると算定出来るサービス提供体制強化加算を算定することで、利用者一人につき1日220円単価が上がりました。

それにより事業収入も前年度実績を上回る実績となりました。

ただし、サービス増減差額については、前年度よりは2,885千円増となりましたが、引き続きマイナス数値となってしまいました。人件費を始めとする支出部分についての削減に取り組んでいきます。

<実績対比>		(単位：人、千円)			
	事業計画	前年度実績	当年度実績	計画対比	前年対比
利用者数	6,205	6,202	6,562	105.8%	105.8%
事業収入	76,460	71,777	75,267	98.4%	104.9%
増減差額		-9,533	-6,648		

(エ) 訪問介護事業（予防含む）

訪問介護を受けながら在宅で介護をしていくスタイルが世間的には少なくなり、通所や短期入所を利用する、又は訪問看護、訪問リハビリを受ける需要が高まっている現状もあり。その為、利用者数は減少し、さらに訪問介護の特徴である、1日複数回サービス提供を受けていた利用者が入院、施設入所等でサービスを中止することが増えてきたことが収入減になった原因ではないかと考える。通所同様、登録利用者数の増加の為、地域の集まりに出向き、自事業所のサービス内容、特性を広める活動を行っていく。

<実績対比>

(単位：人、千円)

	事業計画	前年度実績	当年度実績	計画対比	前年対比
利用者数	5,676	5,723	4,689	82.6%	81.9%
事業収入	23,254	22,583	19,805	85.2%	87.7%
増減差額		2,553	-479		

(オ) 障害福祉サービス事業（居宅介護）

前年度実績を超えることは出来なかったが、事業収入については、計画を上回りました。引き続き現在利用している方への家事並びに生活等に関する相談・助言その他生活全般にわたる援助を利用者の立場に立って実施していきます。

<実績対比>

(単位：人、千円)

	事業計画	前年度実績	当年度実績	計画対比	前年対比
利用者数	144	196	137	95.1%	69.9%
事業収入	450	784	557	123.8%	71.1%
増減差額		38	204		

みどりの郷平田 令和元年度報告書

事業全体概要

年々、経営環境は厳しくなりますがサービス内容の向上・収支の改善に努めました。介護職員の離職防止、人材確保も一定の効果を得られました。その他、緊急時に備え避難訓練の実施や地域ボランティアの受け入れ等を行いました。事業面では居宅介護・訪問介護共に業務受注件数が減少しましたが、通所介護の定員を増やした事で収益の減少幅を圧縮し、全体での利用者数（前年度比 98.1%、計画比 97.3%）の減、事業収入（前年度比 99.1%、計画比 99.7%）は 1,030 千円の減で共に若干下回りました。その他、経費見直しの効果で、サービス活動増減差額は全体で前年度比 132.0%、5,621 千円と大きく伸びました。

通所介護事業

前年度より利用者数は 227 人増加しました。特に令和 2 年 1 月より定員を 30 人から 35 人へ増床した事で 2 月以降、定員増の効果が出ました。

訪問介護事業

季節により訪問件数の差が大きく異なっておりましたが、ほぼ前年度水準となりました。

居宅介護支援事業所

前年度より介護支援専門員が 0.5 人減少し加算要件も変更になった事から利用者件数・収入共に減少となりました。新規利用者獲得に努め 3 月末には前年・目標値に回復しました。

厨房

調理機器故障で更新しました。調理数が少ない為、高価な厨房器具は費用対効果に劣る事から一般調理機器を導入致しました。また長年据え置いていた昼食代を 10 月より 600 円から 700 円に値上げし、仕入れの見直しも行う事で食材単価の引き下げを行いました。

部署別事業実績前年同期対比（3月末）

単位（千円、％）

部署 年度	令和元年度3月末			平成30年度3月末			利用者数		収入	
	利用者数	1日平均 均利用 数	収入	利用者数	1日平均 均利用 数	収入	前年 増減	前年対 比	前年増 減	前年対 比
通所介 護	9,298	25.5	81,057	9,071	24.8	79,121	227	102.5%	1,936	102.4%
居宅支 援	1,275	4.4	18,288	1,397	4.5	20,873	-122	91.3%	-2,585	87.6%
訪問介 護	9,877	27.1	32,815	10,441	28.5	33,065	-564	94.6%	-250	99.2%
合計	21,451		134,615	21,867		135,837	-416	98.1%	-1,030	99.1%
サービス 活動増減 差額			23,176			17,555			5,621	132.0%

2、主たる活動報告（施設全体）

令和元年

- 4月 桜お花見ドライブ（愛宕山桜並木 他）
島根県立大学看護栄養学科 居宅実習
- 5月 つつじ花見ドライブ（康国寺・平田本陣・愛宕山 他）
海上自衛隊舞鶴地方隊見学 河下港
島根県立大学看護栄養学科 居宅実習
- 6月 ちまき作り
島根県立大学看護栄養学科 居宅実習
- 7月 平田一式飾り見学
外出レクリエーション（ケーキ屋・平田本陣・木綿街道交流館・ガ
スト・あそび）
通所介護家族会（健康運動実践指導者・介護予防運動講座）
- 8月 夏祭り
- 9月 敬老会
平田中学校 職場体験実習

- 10月 クッキング月見団子づくり
 出雲西高校 介護実習
- 11月 紅葉ドライブ（佐香神社、鹿園寺方面）
 クリスタルコール平田演奏会
- 12月 クリスマス会
 アルソア化粧・ハンドマッサージ
 みなみ保育所交流会
 出雲農林高校蕎麦部

令和2年

- 1月 初詣（宇美神社）
 とんどさん
 クッキング（ぜんざい）
 平田中学校 職場訪問
 出雲医療看護専門学校 臨地実習
- 2月 節分の豆まき
 クッキング（ぜんざい）
- 3月 桜お花見ドライブ
 クッキング（ぜんざい）

利用者のお誕生会 毎月実施

ボランティア やすらぎ会各支部清掃ボランティア 11件
 JA 平田中央支店清掃ボランティア

主な事業実施事項

① 居宅介護事業

平成17年1月1日より開所し満16年が経過しました。職員体制の変更により本年度は特定事業所加算Ⅲ対象事業所として要件の24時間連絡の取れる体制、週1回のミーティング開催、個別の目標設定に対しての研修に参加し資質向上に努めました。3.5人体制で在宅生活が続けられる様に支援致しております。高齢者単身世帯や老老世帯の増加により支援内容の多様化、医療機関との連携、看取りの支援等、いずれにも対応できる介護支援専門員として活動致しました。新規の利用者確保に努め、3月末には前年と同程度まで利用者数が回復しましたが、加算収入の減少・前半の減収が大きく響きました。利用者数は前年度比91.3%、事業収入は87.6%となり、サービス活動増減差額は44千円と大きく下がりました。

実績対比（参考）

（単位：人、千円）

	事業計画	前年度実績	当年度実績	計画対比	前年対比
利用者数	1,368	1,397	1,275	93.2%	91.3%
事業収入	19,068	20,873	18,288	95.9%	87.6%
増減差額		585	44		7.5%

② 通所介護事業

令和2年1月より定員を30人から35人へ増床し、令和元年度は平均25.5人/日の利用で前年度比0.7人増となりました。斐川地域に相次ぎ施設が開所した事や、多回利用されている方々の入院・入所がありました。新規利用希望の増加もあり利用者数・収入共に増加しました。利用者の方には希望に応じて脳トレ、運動レク、歌レク等の中より選択して頂き本人に合った機能訓練を行いました。定期的に外出レク・ボランティアレクを提供し楽しみを持って参加して頂ける様に努めました。利用者数は前年度比102.5%、事業収入は102.4%となり、サービス活動増減差額は15,402千円、前年比108.9%と大きく伸びました。

実績対比（参考）

（単位：人、千円）

	事業計画	前年度実績	当年度実績	計画対比	前年対比
利用者数	9,193	9,071	9,298	102.5%	101.1%
事業収入	79,133	79,121	81,057	102.4%	102.4%
増減差額		14,138	15,402		108.9%

③ 訪問介護事業

平成12年より事業を開始し満20年を迎えました。発足当初から在籍する職員の高齢化が著明となり退職者もありました。時期により訪問可能件数の増減幅が大きな一年でした。3月末にはほぼ前年度の水準に戻りました。今年度は障がい福祉サービス事業への依頼増で、対応が増えた事も介護保険サービス利用者数の増加が鈍化した一因となりました。疾患別の医療的な知識や障がいのある方への対応、個々のニーズへの対応、意識統一によりヘルパーの質の向上に取り組みました。利用者数は前年度比94.6%、事業収入は99.2%となり、サービス活動増減差額は6,491千円、前年比97.1%とほぼ前年同様となりました。

実績対比（参考）

（単位：人千円）

	事業計画	前年度実績	当年度実績	計画対比	前年対比
利用者数	10,741	10,441	9,877	92.0%	94.6%
事業収入	35,314	33,065	32,815	92.9%	99.2%
増減差額		6,686	6,491		97.1%

④ 障がい福祉サービス

事業を開始し今年 11 年目に入りました。本人様に役割意識を持ってもらい、自立支援の視点を持って支援致しております。介護保険制度と障がい福祉サービスを併用する方や若年の方の利用が増えております。精神的な病気の方が多くなり、専門的な知識を有しての対応が増えております。利用者数は前年度比 134.9%、事業収入は 93.6% となり、サービス活動増減差額は 1,130 千円、前年比 143.5%と大幅に伸びました。

⑤ やすらぎヘルパー事業

やすらぎヘルパーは介護保険の限度額を超える部分や、介護保険で出来ないサービス（お墓の掃除、買い物、掃除、料理、入院中の方の洗濯）等の家事援助や 通院介助、食事のお世話、排泄、入浴等の身体介護サービスを提供しました。介護保険のような収益にはなりません社会貢献・地域貢献の一環の事業として取り組んで居ります。今年度は介護保険・障がい福祉の訪問が増えた為、やすらぎヘルパーの訪問が減りました。利用者数は前年度比 71.1% 年間 324 件で事業収入は 66.7% 359 千円となり、サービス活動増減差額は 107 千円、前年比 13.5%と大きく低下しました。

⑥ すこやか訪問事業

平田地域において、産後の育児負担軽減の為の家事援助、育児相談を行うヘルパー派遣委託業務ですが、令和元年度の依頼はありませんでした。

みどりの郷大社 ・ 令和元年度概況報告書

1 事業全体概況

地域の皆様に支えて頂き、お陰様で14年目を迎えることが出来ました。
事業をとりまく環境が厳しい中にありながらも、看護師・介護職員がそれぞれ一人ずつ入会したことは大きな励みとなりました。
ボランティアさんによる利用者さんとの交流、又清掃活動を通しての施設の状況等情報を共有することができました。

又、浴室タイルが大変滑り易く転倒事故が起きやすい環境であったことから床面を塗り替え安心して利用が出来る環境に整えました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止で、施設一丸となって感染予防に努めております。
事業収益で昨対マイナス23,742千円、サービス活動差額で昨対マイナス14,218千円となりました。

1) 通所介護事業

令和元年度は、突発的な入院が多数発生しその結果入所されるケースが殆どで大きな収入減となりました。新入職員の入会もあり中堅職員による育成指導に努めた1年でした。
新規利用者に繋がる対策として、居宅事業所への空き情報の提供、チラシを作成しJ A窓口に置かしてもらい利用者増に努めました。

2) 認知症対応型通所介護事業

平成31年1月1日より休止し、令和2年3月31日付けで廃止。

3) 訪問介護事業

年間を通して利用者数に大きな変動はないが、夏の暑さに向かうと入所等も増え若干利用者数が減る傾向にある。その一方で年度当初から7月頃までは新規も増え訪問回数も増えております。コロナ対策にも万全を期し、マスク着用はもちろん衛生面には特に注意しながら訪問するよう職員一丸となりサービス提供に努めました。

4) 居宅介護支援事業

積極的に新規受入に努めた結果、出雲市の他、県立中央病院・島根大学医学部付属病院から直接新規依頼を頂くことができた。次年度も保険者である出雲市以外からの新規の受入に関しても柔軟な対応をしていきたいと思う。

又、突発的な入院が多発しその結果入所に至るケースが多発し収入減となった通所介護事業に対して集中減算に当たらないギリギリの範囲で新規利用者を紹介するよう努めた。

5) やすらぎヘルパー事業

介護保険のような収益にはなりません地域貢献の一環の事業として取り組みました。

2 部署別事業実績前年同期対比

単位 (千円、%)

部署 \ 年度	令和元年度3月末			平成31年度3月末			利用者数		収入	
	利用者数	1日平均利用数	収入	利用者数	1日平均利用数	収入	前年増減	前年対比	前年増減	前年対比
通所介護	6,277	17.2	57,235	7,233	19.8	64,297	-956	86.8%	-7,062	89.0%
認知通所	0	0.0	0	670	2.1	9,357	-670	0.0%	-9,357	0.0%
居宅支援	852	2.7	9,853	1,239	4.0	17,410	-387	68.8%	-7,557	56.6%
訪問介護	5,210	14.3	18,465	5,297	13.8	18,230	-87	98.4%	235	101.3%
その他	51		60	7	-	61	-	-	-	-
合計	12,390		85,613	14,446		109,355	-2,056	85.8%	-23,742	78.3%
サービス活動増減差額			-1,163			13,055			-14,218	-8.9%

令和元年度 事業報告書

就労継続支援事業所（B型）『ぼてとほうす』事業報告

1. 主な事業活動

施設外就労をメインとし、植物工場や農家、印刷工場等で就労。その他内職。

2. 利用者の状況

年度内における入所者は無し。退所者は1名でした。令和2年度に新規利用者を受け入れる為、実習を試行し、利用者様の心身状態の把握と、利用者様、家族様の要望を確認。養護学校と連携し、担当者会議を経て来年度より受け入れる事となりました。

定員（20名）

月	人数	障害種別			新規	退所
		知的	精神	身体		
4月	20	20				
5月	20	20				
6月	20	20				
7月	20	20				
8月	20	20				
9月	20	20				
10月	20	20				
11月	20	20				
12月	20	20				
1月	20	20				
2月	19	19				1
3月	19	19				

3. 利用者への支援

- ・ 障害支援区分の認定の調査（出雲市）に際して、認定処理（2件）をしました。
- ・ 4月15日（水）親の会総会にて令和2年度の事業計画を説明し、了承を頂きました。
- ・ 再アセスメントから担当者会議を開催し、個別支援計画を作成しました。
最終的に利用者及び保護者に説明するとともに同意を得ました。

4.年間行事

- | | |
|-------|---|
| (4月) | 花見(ぼてとはうす～施設内駐車場) |
| (5月) | 消防部分訓練(B型及びホーム)
育苗及び植え付け |
| (6月) | グループホーム敷地清掃作業
健康診断(利用者)
玉ねぎ収穫 |
| (9月) | バーベキュー(ぼてとはうす～敷地内駐車場) |
| (10月) | 遠足～広島県高野町(リンゴ狩り)
総合訓練(B型及びホーム)
菜園収穫 |
| (12月) | クリスマス会 |
| (1月) | 新年会 |
| (2月) | 節分祭(恵方巻) |
| (3月) | 種まき(ポット作り)
目標の確認 |

5.活動状況

別表参照

6.健康管理

利用者の日々の健康状態を観察し、心身の状態を職員で把握するように努め、体調がよくない様子が見られた場合は、家族に連絡し対応した。

- | | |
|--------------------|-------|
| ① 協力医による定期健康診断 | 年 1 回 |
| ② 心身及び排泄の状態をチェックする | 毎 日 |
| ③ 感染症対策としての手洗いの指導 | 随 時 |
| ④ 服装のチェック | 毎 日 |

7.防災計画～消防部分訓練（消火・避難）の実施

ぼてとほうす	5 月 28 日
グループホーム	5 月 29 日

消防総合訓練（消火・通報・避難）の実施

ぼてとほうす	11 月 25 日
グループホーム	11 月 27 日

- | | | |
|--------|---------------------|-----------------|
| 8.体験実習 | 6 月 10 日～ 6 月 14 日 | 出雲養護学校 2 年生 1 名 |
| | 6 月 17 日～ 6 月 21 日 | 出雲擁護学校 3 年生 1 名 |
| | 10 月 9 日～ 10 月 11 日 | 出雲養護学校 3 年生 1 名 |

9.各種会議の開催状況

- ・職員会議の開催 職員全体会議 毎月 1 回（4 月～3 月計 12 回）

10.苦情の申し出

（1）苦情の相談

次の体制を整えていたが、苦情の申し出はなかった

（2）苦情処理体制

苦情解決責任者	施設長：森山 剛
苦情受付担当	支援員：佐藤 紗希
第三者委員	柳樂 正雄

意見箱設置 ぼてとほうす入口 1 カ所、ホーム男子棟・女子棟各 1 カ所

令和元年度 相談支援事業所 ぽてとほうす 事業報告書

1 主な事業活動

相談支援事業所として、利用者が有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域や家庭との結びつきを重視した相談支援を適切に行うとともに、支援事業の提供に当たっては、漫然かつ画一的なものとならないよう配慮しながら利用者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立って提供するよう努めた。

2 支援事業の内容

(1) 相談支援

主たる対象者の障害の種類 知的障がい者

(2) サービス利用計画 相談支援専門員によるサービス提供

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計 画	1	0	3	2	0	0	4	2	1	1	1	0
モニタリング	8	3	1	7	3	4	4	1	3	7	2	4

3 利用料

利用者から受領する費用はない。

4 秘密保持等

個人情報について、当法人が保有する情報の紛失、漏えい、改ざん等を防ぎ、情報管理に関する当法人としての社会的責任を果たした。また、利用者等に関する情報を提供する際には、あらかじめ利用者等の同意を得る事を規約。

5 研修・会議の参加

出雲市福祉推進課主催「サービス調整会議」(毎月開催)に相談員が参加しました。

島根県社会福祉協議会主催「相談支援専門員現任者研修」に参加しました。

苦情の申し出

(1) 苦情の相談

次の体制を整えていたが、苦情の申し出はなかった。

(2) 苦情処理体制

苦情解決責任者	施設長：森山 剛
苦情受付担当	支援員：安田 佳子
第三者委員	柳樂 正雄

意見箱をぼてとほうす入口1カ所、グループホーム男女棟に各1カ所設置。

令和元年度

共同生活援助（グループホーム）事業報告書

マレ・アンジェロ（男性棟）・シエロ・アンジェラ（女性棟）

1 利用定員 12名（男性 4名・女性 8名）

【利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	在籍計
男性棟	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36名
女性棟	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36名
計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72名

(85)

3 事業運営基本計画（方針）

サービスの充実を図ると共に、利用者の皆さんが地域において、共同して自立した日常生活、または、社会生活を営むことが出来るよう当該利用者の身体及び精神の状況やその置かれている環境に応じて、共同生活住居において相談その他、日常生活上の介護または援助を適切かつ効果的に行いグループホームでの生活を通じ、自立に向けての意欲を高めると共に充実した日常を過ごすことを目的とする。

4 主たる対象者の障害の種別

知的障がい者

5 利用者への支援

（1）生活支援、健康管理

- ・利用者個々の心身の健康状態を常に把握するとともに、日常生活を送る上での必要な援助や対人関係の指導を行う。
- ・個々のペースに配慮した時間の配分また声かけなどをし、朝を気持ちよくスタート出来るよう支援する。
- ・また通院、検診、余暇活動など必要に応じて移動支援を行う

6 支援内容

- ・日常生活を営む上で必要な介護
- ・利用者に対する相談

- ・健康管理、金銭管理の援助
- ・余暇活動の支援
- ・緊急時の対応
- ・職場等との連絡、調整
- ・その他日常生活に必要な援助

7 日 程

朝

7 : 0 0	起床、健康の確認 着替え・身支度
7 : 2 0	食事
8 : 0 0	ホーム掃除（当番制）
8 : 4 5	出勤

夜

1 7 : 3 0	帰宅（ぼてとほうす） 定休または、帰宅した方から食事 食事が終わった方から入浴を行う 自由時間
2 0 : 3 0	リビング消灯（各部屋へ） （節電を心がけ、22時には、TV やゲームは消し就寝）

8 利用料

家賃 0円（9,500円は、国の定める法律により、23年10月より特別給付費より負担されています）

その他実費 （食材料費・高熱水費・日用品費等その他の日常生活においても通常必要となるものに係わる費用）

9 各種会議

- ・引継ぎ及び支援会議
毎朝、世話人から生活支援員へ引継ぎをし、利用者の状態を確認するとともに、必要に応じて支援会議を開催し、生活支援員と世話人が連携をとり適切な支援を行う。
- ・意見交換
必要に応じて、利用者と、管理者、サービス管理責任者、生活支援員等、を交えての意見交換を行う。
- ・個別支援計画の策定、見直しを行うとともに、通所者の状態を確認、または、対応し、必要に応じて会議を開催する。

10 苦情処理

(1) 苦情の相談窓口

苦情は面接、電話、書面などにより苦情受付担当者が随時受け付ける。

なお、第三者委員に直接苦情を申し出ることできる。

(2) 苦情処理体制

苦情解決責任者	森山 剛	(0853) 23-0477
苦情受付担当者	安田 佳子	(0853) 23-0477
第三者委員	柳樂 正雄 委員	(0853) 23-3377

の体制とし、利用者の相談や苦情解決に向けて迅速な対応と解決に努める。

(3) 利用者の権利擁護

- ・ 苦情や意見、要望などを常に把握するための手段として、施設内各玄関に「みんなの声意見箱」を設置し、利用者の権利擁護について積極的に取り組む。
- ・ 職員に対しての研修や指導も行っていく。

11 個人情報保護

(1) 個人情報の取り扱いに関する体制・基本ルールを策定し、当法人が保有する情報の紛失、漏えい、改ざん等を防ぎ、情報管理に関する当法人としての社会的責任を果たす。

(2) 個人情報保護に関するお問い合わせ窓口

10 苦情処理の(2) 苦情処理体制と同上